

A 現在進めている見直しについては、医療監修に基づいた例を参考に今年中に見直し版を確定させ、来春から配布するスケジュールで検討を進めている。



実行委員会方式等での事業執行について

Q 実行委員会の実態や財政面・事業の妥当性を市はどう評価しているのか。

A 市が事務局として参画または共催する事業については、市においても事業の計画時や実施する過程を確認している。市が交付金を交付する実行委員会は審査や報告の過程で事業内容が交付金の趣旨、目的に沿っているかなどについて確認している。

栄地域の工業流通団地の除草対策

Q 栄地域の工業流通団地の一部で雑草が繁茂している。除草できないか。

A 未分譲地は土地開発公社が年1回程度除草を行っている。関係機関、進出企業と連絡を取り、良好な周辺環境の維持に努めたい。



栄地域の工業流通団地の雑草

後期高齢者の人間ドック補助について

Q 後期高齢者になると人間ドックの受診料が3倍ほどになる。受診料の補助額を増額できないか。

A 人間ドックは検査項目が多く、健康診査よりも疾病の早期発見に



燕 幸男 議員の質問

防災対策について

Q 防災リーダー育成の観点から防災士育成のために資格の取得費用を助成してはどうか。

A 地域の核となる人を増やし裾野を広げる取り組みとして有効かどうか、防災士の取り組みも含め検討していく。

Q 女性の視点が必要であるため、防災対策室に女性職員を配置・登用してはどうか。

A 災害時は防災対策室の職員だけでなく、全庁体制で対応している。避難所の運営や物資搬送など各班に配置された女性職員の視点を生かした改善を行っており、今後同様に対応していく。

産後ケア事業について

Q 三条市では、短期入所型と通所型を行っているが、助産師等が自宅に直接訪問する訪問型による支援を充実させてはどうか。

A 訪問型支援の有効性は認識している。一方で当該支援に対応できる助



長橋 一弘 議員の質問

三条市に対する住民訴訟について

る。補助は基本的には県広域連合の判断。市は一般財源から補助しているが、増額は難しい。

Q 以下について質問

- ・ワンテール側の弁護士3人のうちの1人が辞任したことについて
- ・ワンテールを朝日新聞出版アエラが「地方創生マネーを狙うハイエナ」と指摘していることについて
- ・ワンテールについて、資本金が3億円あり、幅広く観光にも知見があると発言した認識について
- ・ワンテール島田氏に関わった案件で三条市が最も人口規模の大きい地方自治体であることについて
- ・ワンテールとの契約に関して、瑕疵はない、契約不履行はない、この案件は理事者協議で決めた、感染症が急拡大する中で致し方ないというような内容の答弁をしていることについて
- ・ワンテールとなぜ、契約したのかについて
- ・一者随意契約について
- ・ヘルス・トラディショナルツアーの目

産師の絶対数が少ない現状があるため、支援の拡充については人材確保ができるかどうかを踏まえ、検討を進めていく。

マンホール蓋を活用した観光振興について

Q マンホール蓋およびマンホールカードにテレビアニメDoraemon Yourself!!のキャラクターを活用してはどうか。

A 観光振興の一つとしても効果が期待できると考える。キャラクターを使用する際のライセンス料や設置費用などを含め検討していく。



マンホールカード「金物工具」



坂井 良永 議員の質問

米不足について

Q 店頭で米の品切れや品薄、価格高騰が生じた。主食である米の需給

的について
・5000万円を投資した費用対効果について
・ヘルス・トラディショナルツアーで中国をターゲットにしたことについて
・インフルエンサーについて
・下請け先コロナとの契約書、領収書類について

A 答弁はいずれも「係争中のため答弁は控える」。



野寄 久雄 議員の質問

定住促進戦略の一環として、活力ある産業の育成や商工業を活性化することについて

Q 燕市では、エアコンなどの冷暖房設備が未整備となっている工場または倉庫における労働環境の悪化が懸念されていることから、働きやすい職場環境を整備し、従業員の作業効率や満足度の向上、離職防止を図るため、令和6年4月1日から工場等遮熱断熱促進補助金の募集を開始した。施工業者を市内企業に限定することで地域経済の活性化にもつながり、一石二鳥の効果があるとして期待もされている。三条市として同制度の創設の考えはあるのか伺う。

と価格、農家の所得安定は、備蓄米の放出も含め政府が責任を持つべき。どう考えるか。

A 主食の需給、価格安定の施策は、生産者の自主的な努力を支援することが旨。基本的には国の役割である。



米不足

中小企業支援について

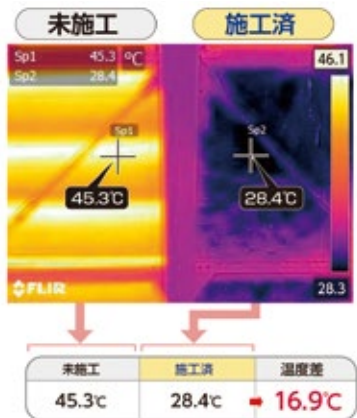
Q 県の物価高騰等対策特別融資の信用保証料を支援すべきではないか。

A 大きなニーズがないと見込まれたことから、補助は考えていない。

Q 質上げする中小企業に対し、市が補助できないか。

A 労働生産性の向上等をサポートし、質上げの環境づくりを後押ししている。補助は考えていない。

A 深刻な人材不足に対応するため、労働環境の整備に力を入れることは重要であり、また、多様な人材から選ばれるためにも必要不可欠と考えている。工場等の遮熱、断熱はさまざまな効果があり、ニーズも高いと承知している。一方で、多額の予算も必要なことから、必要性、効果を把握しているところであり、今後検討を進めていきたい。



遮熱の効果



内山 信一 議員の質問

大面川の土砂の浚渫について

Q 先回の浚渫から今年で11年が経過するが、河床への土砂の堆積が進んでいる。大面川の管理は農業利水の立場から刈谷田川土地改良区となっているが、現状では、流域住民の生活排水および雨水処理に果たす役割も大きいと考えられる。市も刈谷田川土地改良